

◎勝利の経典「御書」に学ぶ 白米一俵御書

わが身も、自分の時間も惜しまず、人の幸福のため、広布のために捧げている、学会員一人ひとりの生き方に、大聖人が讃嘆してやまない信心の「志ざし」（全 1596・新 2053）が輝いているのです。

だからこそ、学会活動に地道に励んだ人は、必ず、「幸福の軌道」「勝利の軌道」に入っていくのです。

（中略）

大事なのは、わが一念が、どこを向いているかです。「何のため」という根本目標を定めることです。

私たちで言えば、自身の一念を御本尊に、広宣流布に向けていくことです。

（『勝利の経典「御書」に学ぶ 21』127 ページ）

◎上野殿御返事（竜門御書）

願わくは、我が弟子等、大願をおこせ。

（御書新版 1895 ページ・御書全集 1561 ページ）

◎随筆「人間世紀の光」

「大願」とは、師匠と同じ誓願に立つことだ。法華經の行者である師匠と、心を合わせて行動することだ。その時、露を大海に注ぎ、塵を大地に埋めるように、計り知れない雄大な境涯が開かれていくのだ。

（『池田大作全集』第 139 卷所収）